



発行所
財団法人 青森県りんご協会
〒036-8093 弘前市城東中央3-9
TEL 0172-27-6006
FAX 0172-27-6008
購読料1か月1,050円
(但し会費に含む)

りんごにセシウム 排泄効果

アップル
ペクチン

「原発と食の安全」講演会

「りんごに放射性物質「セシウム」を排泄する効果あり」五月二十八日、
富山医科大学の田澤賢次医学博士(鮫ヶ沢出身・旧富山医科薬科大学名誉教授)
が弘前市で開催された「原発と食の安全講演会」で発表した。



セシウム排泄効果を語る田澤名誉教授

講演会はアップルペクチン機能性研究会(成田吉朗代表)と弘前医療福祉大学(下田敦子理事長)が主催、同大学セミナーホールに三百人を超える聴衆が参加して開催された。

講演テーマは「りんごの秘密に迫る—アップルペクチンによる門脈血浄化とセシウムの排泄効果」。

講演の中で田澤教授は、ロシアBELRAD研究所によるチエルノブイリ原発事故で被曝した子供たちへアップルペクチン添加食品を服用させた結果について

、「添加食品物を投与(二日に五回を二回)したところ、セシウム—137の放射線レベルが平均三〇〜四〇%の減少を示した」ことを紹介した。また、同研究所ではこの結果から放射線に汚染された領域に住むすべての子供たちにアップルペクチンの添加食品を継続して供給するよう勧められているという。

またアップルペクチンはシトラスペクチン(かんきつ類に含まれる)などと比較しても抗菌作用に優れ、体内の悪玉菌を抑制する力が五倍位強いとし、アップルペクチンを含む食品を積極的に摂取するよう呼びかけた。品種別のペクチン含